

気付こう！無意識の思い込み

～誰もが自分らしく生きやすい社会に～

皆さんが普段生活する中で「男性だから」「女性だから」ということを口にしたり、思ったりしたことはありませんか。以前よりも男女共同参画社会の考え方が広がり、性別による偏見に対しての意識的な変化がみられます。それでも、性別による無意識の思い込みや決めつけは今なお生活の中に潜んでいます。

日常生活の中で当たり前になってしまっているような男女の役割分担意識を再度見つめ直し、「男女共同参画」について考えてみませんか。

☎ 市男女共同参画センター ☎ 23-8200

男女共同参画社会とは？

男女がお互いに人権を尊重し、「男性」や「女性」というイメージにあてはめてしまうことなく、一人ひとりが持っている個性や能力を十分に発揮できる社会のことです。

自分らしく生き生きと暮らせる社会の実現のために、一人ひとりが“当たり前”とされていることを見つめ直すことが大切です。



1. 園庭で園児を集める保育士
2. 鉄骨を塗り直す塗装工
3. 大型バスの運転士
4. 子どもと子育てイベントに参加するお父さん

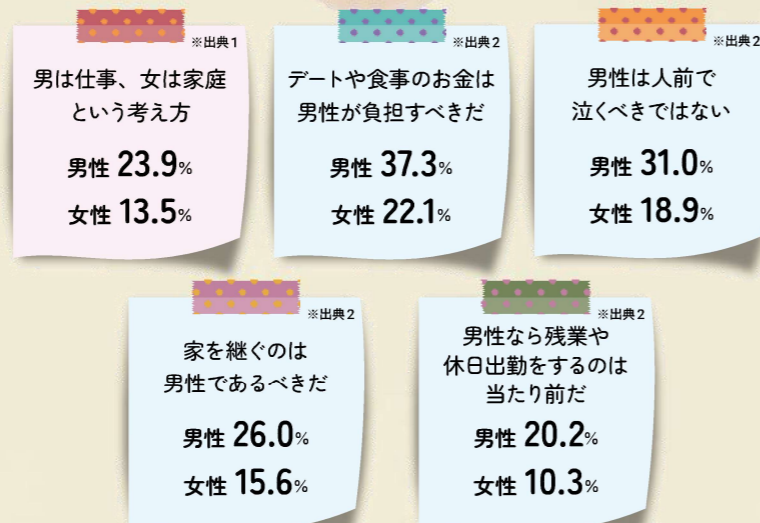
性別役割分担意識を持っていませんか？

能力ではなく性別を理由として役割を固定的に分ける「性別役割分担意識」。国や本市が行った調査の結果を紹介します。

出典1 「男女共同参画に関する市民意識調査」(天草市：令和3年度)

出典2 「性別による無意識の思い込みに関する調査研究」(内閣府：令和3年度)

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答【男女別】



家庭生活での役割分担【内容別】

(誰が行っているか) ※各項目の合計は必ずしも100%にはなりません。



市政だより

あまくさ 8 2023 月号

主な内容

- 2 気付こう！無意識の思い込み
- 6 その困りごと“消費生活センター”にご相談ください！
- 8 いきいき健康
- 10 暮らしの情報
- 25 キラリ天草人
- 26 元気☆あまくさっこ/〇〇な人み～つけた!
- 27 ハッピーバースデー
- 28 宝島のわだい
- 30 学芸員のイチオシ/天草見どころ図鑑
- 31 市民のひろば
- 34 休日在宅病(医)院
水道修繕当番店/献血日程
- 35 お出かけ情報/市長コラム
- 36 省エネ・節電に取り組みましょう!

天草市公式SNS



人のうごき

6月末日現在

6月中の異動	※()内は前月比
人口 73,957人 (78減)	出生 23人
男 34,927人 (30減)	死亡 118人
女 39,030人 (48減)	転入 113人
世帯数 36,219 (18増)	転出 96人

問い合わせ先

本 庁	天草市役所 ☎23-1111 〒863-8631 天草市東浜町8番1号
支 所	牛 深☎73-2111・有 明☎53-1111 御所浦☎67-2111・倉 岳☎64-3111 栖 本☎66-3111・新 和☎46-2111 五 和☎32-1111・天 草☎42-1111 河 浦☎76-1111

「親が単身赴任中」と聞くと、
父親を思い浮かべる



「育休中」と聞くと、
母親を思い浮かべる



「機械類の操作は男性が得意」
だと思



子どもに「男の子なのに
泣くんじゃない」
と言った

「好きな人ができた」と聞くと、
異性を思い浮かべる

「あやとりや編み物が
得意な子どもは女の子
みたいだ」と思う

「アンコンシャス・バイアス」とは「無意識の思い込み、偏見」と訳され、誰かと話すときや接するときに、これまでに経験したことや見聞きしたことに照らし合わせて、あらゆるものを自分なりに解釈してしまうことです。普段の生活の中で、次のことを言ったり、思ったりしたことはありませんか。

「アンコンシャス・バイアス」って何？

interview

各まちづくり協議会の会長からなるまちづくり協議会連絡会として、天草市男女共同参画審議会の委員

江口 俊一 さん

天草市男女共同参画審議会



人権擁護委員として21年、女性相談の相談員として10年活動し、近隣トラブルや家庭問題などさまざまな相談を受けてきました。

原田 彰子 さん

天草市人権擁護委員協議会



以前は「男性は外で仕事、女性は家庭を守る」、「女性だから家事・育児をする」などが当たり前とされる社会でした。現代は、共働きの世帯が増え、家事や育児の分担も進むなど、男女の役割についての意識も変わってきていると感じます。しかし、「女性だから」と性別に起因する相談が多いのも現実です。「性別によって何をすべき」と無意識に思い込んでいたり、考えたりすることは必ず

あります。以前は「男性は外で仕事、女性は家庭を守る」などの固定観念が当たり前の社会でしたが、現在は「性別によって何をすべき」という考えがなくなり、性別に関係なく、誰もが活躍できる社会を目指しています。また、性別に関係なく、誰もが活躍できる社会を目指しています。また、性別に関係なく、誰もが活躍できる社会を目指しています。

となり4年目になります。委員になって日常を見つめ直してみると、地方ほど男女格差が見られることに気付きました。会合や集会などの長はほとんどが男性で、集まりの場での食事の準備や片付けは女性がしています。これは家庭での役割分担が影響していると思います。以前は、家庭内でのような光景は一般的だったのかもしれませんが、中には女性にしかできないことも

あります。以前は「男性は外で仕事、女性は家庭を守る」などの固定観念が当たり前の社会でしたが、現在は「性別によって何をすべき」という考えがなくなり、性別に関係なく、誰もが活躍できる社会を目指しています。また、性別に関係なく、誰もが活躍できる社会を目指しています。

男女共同参画の進展が未だに十分でない要因の一つとして、固定的な性別役割分担意識やアンコンシャス・バイアスが存在していることがあげられます。アンコンシャス・バイアスへの気付きは、多様性を認め合う社会の実現に向けての第一歩です。市男女共同参画センターは、市民の誰もが、個性と能力を發揮でき、自分らしく生きられる「男女共同参画社会」を推進していきます。

Check!

- 血液型で相手の性格を想像してしまう
- 重要な商談は年齢が上の人がするべきだと思う
- 仕事を定時で帰る人はやる気がないと思う
- 年齢や学歴、職業などの属性で、相手を見ることがある
- 「普通は〇〇だ」「それって常識でしょ？」という言葉を使ったことがある

など

性別に関する 思い込み以外にも

アンコンシャス・バイアスは性別に限ったものではありません。相手の見た目や生まれ持ったものなどから、思い込みや決めつけていることがないか確認してみましょう。

アンコンシャス・バイアスの対処法

思い込みによる判断や言動が、相手を傷つけたり、自分や相手が成長する可能性を狭めたりするなど、ネガティブ（否定的）な影響を及ぼすことがあります。日常にあふれ、誰もが持っているアンコンシャス・バイアスの対処法を3つ紹介します。

自分や相手の価値観や能力を決めつけたり、解釈や理想を押し付けたりしない

相手の表情や態度の変化などの「サイン」に注意する

「これってアンコンシャス・バイアスかも？」と自分で思うことを1~2週間メモしてみる